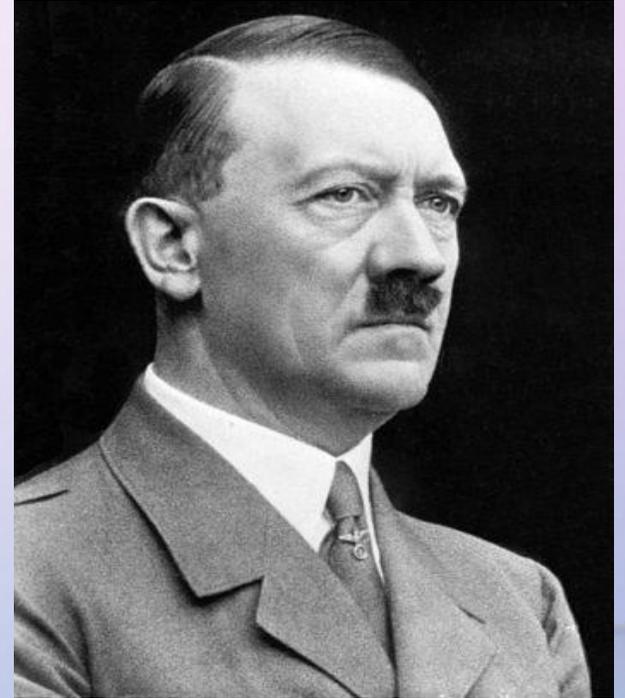


ヒトラーの生涯

190781068 岩瀬華蓮



第1章 兵士ヒトラー



第1節 少年アードルフ

(A)アードルフ・ヒトラーの生い立ち

(ア)1889年4月20日、当時のオーストラリア＝ハンガリー帝国、ブラウナウで誕生

(イ)父はオーストラリア税官吏のアロイス・ヒトラー

(ウ)母はクラーク・ヒトラー

(エ)ドイツ帝国では福音派が圧倒的

(オ)ヒトラーはカトリック教徒



(B)ヒトラーの経歴

(ア)小学校時代、学業も素行も良い成績

(イ)高学年では成績が不安定

(ウ)進学の意味は無、16歳で学業から離脱

(エ)権威主義的でしつづけに厳しい父からDV

第2節 兵士ヒトラー

(A)ヒトラーの希望:「画家」か「アカデミー出の画家」

→1920年ナチ党の前身ドイツ労働者党に入党

(B)1913年春、ウィーンからミュンヘンへ引っ越し

→24歳で父親の遺産に取得、兵役から逃走

(C)本人は政治的理由、ドイツのためと主張

(D) 1914年1月18日に逮捕

→兵役検査の結果、虚弱で兵役には不適合

第3節 第1次世界大戦

(A)ヒトラーの動き

(ア)1914年6月28日 「7月危機」

→オーストリア皇位継承者フランツ・フェルディナント大公夫妻がサラエヴォで殺害

(イ) 8月1日独は対露総動員令を発令

(ウ)対露開戦ニュース歓喜の上掲写真は有名

(エ) 8月3日バイエルン王国の君主ルートヴィヒ3世に直接訴願

対露開戦ニュース歓喜の上掲写真



第3節 第1次世界大戦

(B) ヒトラーの任務

(ア) 伝令兵 → 自伝で忘却

(イ) 1917年6月に、ヒトラーは伝令途次、フランス軍の兵士を4名も捕虜 → 離れ業的戦功

(ウ) 一級鉄十字章を受章

→ 真の理由は電信途絶後、前線に指令を伝達

第2章 国民的政治家への道



第1節 ナチ党総統

(A)ヒトラーの初期の協力者たち

(ア)外国育ちのドイツ人急進主義者

(イ)多くは中間層出身で、20代から35歳まで

(ウ)一般党員の中でも軍人や義勇軍関係者が急増

→労働者の要素は後退、失業者が多数入党

(エ)短期間にナチ党の指導権を掌握へ

→右翼急進主義の競争相手に勝利

第1節 ナチ党総統

(B)ヒトラーは1921年7月11日、ナチ党脱退を宣言

→同時に再入党の条件も主張

(ア)ミュンヘンの党組織と綱領の絶対的な優越を保証

(イ)8日以内に党執行委員会の再選

(ウ)彼自身に「独裁的権限を付与、第1議長の地位」

(エ)ミュンヘンを将来的に「運動の本拠地」への認定

(オ)競合関係の集団との合体は相手側の無条件の合流だけの認知が必須

第1節 ナチ党総統

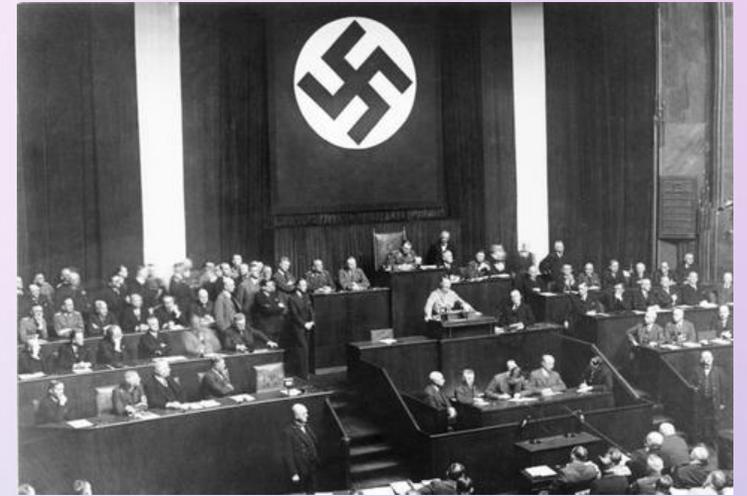
(C)ナチ党のフューラーに選抜

(ア)独裁権を所持

(イ)党の執行委員についても、見せかけの選挙

(ウ)党組織再編を決定

→実際上の独裁的指導権をヒトラー指導下の
「行動委員会」付与という形



第2節 『我が闘争』

(A) 1925年7月に発刊、自己形成小説家風の自伝

(B) 修行と苦難期の青年のイメージを描写

(C) × 無名のヒトラーが政治的救世主に転成術

○ こうした転成、突然変異のための手段、装置

(D) 「総統こそは革命的変革を目指す歴史的使命の担い手であり、その演説は革命の起動力となる。」

第3節 首相へ

(A)1932年ドイツ国籍取得、大統領選に出馬

→決戦投票でヒンデنبルクに敗北、落選

→国会選挙では第1党にナチ党が躍進

(B)1933年ヒンデنبルクから首相指名

(C)全権委任法制定、一党独裁体制を確立

(D)1934年ヒンデنبルク病没、国家元首へ

第3章 総統兼首相として

第1節 ヒトラー内閣

- (A) 1933年1月30日大統領ヒンデンブルクはヒトラーナチ党
総統をドイツ国首相に任命
- (B) 反ユダヤ主義的暴力行動が流行
- (C) 1934年6月30～7月2日にレーム事件
- (D) ヒンデンブルク病没後、総統兼首相はヒトラーに移行

第2節 オーストリア併合

(A)1938年 オーストリアを武力恫喝→併合

→反ユダヤの法律を導入

(B)オーストリアの反ユダヤ主義運動がドイツに逆流

(C)ミュンヘン会談でズデーテン地方を獲得

第3節 第2次世界大戦勃発

(A)1939年 チェコスロバキアへ武力恫喝→チェコを保護領→スロバキアを保護国化

(B)独ソ不可侵条約を締結、ポーランド侵攻を開始
→第2次世界大戦勃発

(C)ヒトラー暗殺未遂事件

第4章 天才的将帥から地下要塞へ

第1節 絶滅収容所の開設

(A)1942年1月20日ヴァンゼー会議

→ユダヤ人の絶滅政策を了承

(B)6つの強制収容所が起動

→アウシュビッツ含

第2節 独ソ戦

(A)1941年6月22日ソヴィエト連邦に侵攻

→独ソ戦は1945年まで継続

(B)1943年 スターリングラードで大敗

第3節 ヒトラー自殺

(A)1945年 エヴァ・ブラウンと結婚

(B)4月30日 ヒトラー自殺

→ベルリン内の総統地下壕内で銃殺

ヒトラー・イメージの検討

(A)独裁者、悪魔

(B)人間ヒトラー

意見：人間ヒトラー

理由：ピエロのような存在